

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		障害者外出支援サービス事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	福祉課	担当者名	林 智英
	基本事業	51	障がい者への在宅福祉サービスの充実と社会参加の推進			所属班	障がい福祉班	(内線)	2132
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市障害者外出支援サービス事業実施要綱		
	1	3	1	3	10512		成果優先度評価結果	5	
							コスト削減優先度評価結果	9	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	家庭内において送迎または公共交通機関の利用が困難な重度障がい者(児)に対し居宅と医療機関との送迎サービスを行う事業。 H18.2.27合併による事務見直しで、高齢者で行っていた外出支援サービスの中の障がい者部分を独立させた。 委託事業所が2箇所から1箇所に減少している。
【業務の流れ】	申請書を受理後、利用の可否について決定し、申請者に決定又は却下通知を、委託先には依頼書を通ずる
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	寝たきりの重度の障がい者の方から感謝の声が聞かれる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
家庭内において送迎または公共交通機関の利用が困難な重度障がい者(児)に対し、委託事業所により、居宅と医療機関との送迎サービスを行った。	21年度と同様に実施する。

  

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 登録者数	件
⇒ イ	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)
重度の身体障がい者・児 (手帳1・2級所持者)	人
⇒ ア 左記の対象者数	人
⇒ イ	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)
送迎サービスを行うことにより、医療機関での受診が容易にできる。	回
⇒ ア 延べ利用回数	回
⇒ イ	回

\*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

障がいがある移動制約者が医療機関での受診が可能になっているかどうかを利用回数で把握する。

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 件	件	9	13	13	11	11	12	13
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人	人	886	873	920	941	950	960	970
	イ								
⑥ 成果指標	ア 回	回	201	116	120	36	36	37	38
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	584	366	600	99	360	360
	(A) 事業費計	千円	584	366	600	99	360	360	360
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80	80
	(B)人件費計	千円	318	320	318	318	318	318	318
トータルコスト(A)+(B)		千円	902	686	918	417	678	678	678

総トータルコスト  
 全体計画  
 ~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

0

事務事業名	障害者外出支援サービス事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	利用登録者の死亡、転出等により延べ利用回数が減少した。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	厳密にはNPO法人による福祉有償運送とは利用対象者が異なるため不可能である。		
公平性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	利用量に応じての委託料支払いのため、成果を下げずに事業費を削減するのは不可能である。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	委託事業であり、市の業務はでは受付・審査・支給決定のためのためこれ以上削減することは不可能である。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	負担額も一律で、公平・公正である。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>家庭内において送迎または公共交通機関の利用が困難な重度障がい者(児)の医療機関受診は、このサービスがなければ非常に困難であり、生命維持のために重要な受診の場合も多く今後とも継続実施したい。</p>
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 目的再設定    <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特になし。
-------